



会長 高山泰四郎
幹事 坂本 肇

会長テーマ

「ロータリーの魅力を探ろう！」

例会日/毎週月曜日 12:30~
例会場/トキハ会館 4F
TEL 097-532-0611
FAX 097-532-8386

- ・例会出席によって……
- ・委員会活動の実践で……
- ・地区行事への参加で……
- ・家庭集会の場で……



2013~14年度
国際ロータリーのテーマ

「ロータリーを实践し
みんなに豊かな人生を」

R I 会長
RI第2720地区ガバナー
ガバナー補佐

ロンD・バートン
赤山武興
赤嶺 昭

■ 本日のプログラム (12月16日)

18:30 点 鐘
ロータリーソング 「それこそロータリー」
ゲスト・ビジターの紹介 会長 高山泰四郎
会長の時間 会長 高山泰四郎
出席報告 委員長 穂田英一郎
幹事報告 幹事 坂本肇
委員会報告 関係委員会
ニコニコタイム 親睦委員長 吉良昌一

クリスマス会 ~「森の木」の子どもたちと一緒に

18:40 司会 坂本肇
18:45 開会のあいさつ 会長 高山泰四郎
「森の木」ご挨拶・紹介
18:55 乾杯 直前会長 西岡一雄
~ 歓談 ~
19:30 クリスマスミニライブ
お楽しみゲーム
20:30 「森の木」子供たち合唱
お礼のことば
20:40 閉会のあいさつ 副会長 藤本保

■ 第18回例会の記録 (12月9日)

・出席報告 (12月9日)

会員総数	15名(うち名誉会員2名)
12月9日	
出席免除	2名
出席会員数	9名
出席率	69.23%
ゲスト	0名
ビジター	2名
11月25日	
修正出席率	92.30%

ロータリーソング 【それこそロータリー】

どこであってもやあと言おうよ 遠い時には手を振り合おうよ
見つけた時にゃ それこそ
おいと呼ぼうよ ローローロータリー

会長の時間 (12月16日) 会長 高山泰四郎

「クリスマス家族例会」

皆様こんばんは！今年も残り少なくなりました。新しい年も間近です。

今宵は年末恒例のクリスマス家族例会です。会員並びにご家族の皆様、ようこそいらっしゃいました。そして、今夜は我がクラブが日頃から親しく交流を続けています「森の木」さんから、沢山のお友達と先生方が参加して下さいました。遠い処から有り難うございました。今年は新しくオープンした「ホルトホール」での開催です。皆様で楽しく過ごしましょう。

さて、今年も色々な出来事がありました。今夜は過ぎし一年の楽しかったこと、辛かったことを振り返りながら、楽しいひとときを過ごして下さい。これまで家族会の準備を進めて頂いた坂本幹事さん、吉良親睦委員長さん、本当にご苦労様でした。会員一同心から御礼申し上げます。

新しい年が皆様にとりまして、素晴らしい一年となりますよう祈念して、歓迎のご挨拶と致します。

“Merry Christmas!”

& Happy New Year!

ゲスト・ビジターの紹介

ビジター

前田 信治 様(大分中央RC) 阿部 貢史 様(大分中央RC)

ニコニコタイム (12月9日分)

鳥越 徹会員(自主1口)

結婚記念日(12月5日)を祝して1口いたします。

■ 次週の例会(第20回 1月8日) 1月6日(月)の振替

新春合同例会

トキハ会館5F ローズの間 18:00~

12月30日(月)は定款第6条1節により休会

平成26年1月6日(月)は8日の新春合同例会に振替です。

1905年2月23日、アメリカ・シカゴで、ポール・ハリスと3人の仲間が集まったのがロータリーの始まりです。最初アメリカにだけあった、ロータリークラブが、今では世界中に広がりました。日本では、1920年10月20日、東京ロータリークラブの創立に始まります。創立会員は24人でした。

1996年11月末、会員数13万982人。この時が、日本の会員数のピークでした。この翌月から、会員数は減り始め、『ロータリーの友』に掲載している会員数を見て、「間違っている」と電話がかかってきたこともありました。それまで、日本の会員数は増え続け、グラフにすれば常に右肩上がり。日本のロータリアンにとって、会員数やクラブ数が減るなどということは、全く考えられないことだったのです。

誰もが「何かの間違い」と考えていた日本の会員数減少ですが、その後、減少は速度を増し、13万人を超えていた会員数が、13万人を切り、12万人になり、そして10万人を割ったころには、日本のロータリアンの多くが自信を喪失し、元気を失ったように見えました。残念ながら、その後も会員数は減少し続け、2011年6月には、9万人を下回ってしまいました。しかし、悪いことばかりではありません。1920年に東京ロータリークラブが誕生してから守り続けられてきた、日本のロータリーの伝統を継承しながらも、新しいかたちのロータリークラブが誕生してきたのです。

それまでは昼食を共にしながら例会を開催するクラブがほとんどでしたが、朝例会や夜例会を開催するクラブが少しずつ増えてきました。財団学友やROTEX、ローターアクターなど、ロータリーが育てた若い人々を中心にしたクラブが創立されました。例会で食事が出ないクラブもあります。インターネットで例会を開くEクラブもできました。女性会員が、少しずつですが増え続け、女性だけのクラブも誕生しました。女性の会員数を見ますと、少しずつですが、確実に増え続けています。

会員資格や、例会条件など、規定審議会のたびに少しずつ変わってきています。その変更をうまく取り入れた新しい発想のクラブが創立したり、新しい会員を受け入れることで、日本の会員数も減少に歯止めがかかりつつあるようです。一方で、伝統を重んじるクラブへの人気も衰えることはありません。さまざまな雰囲気のあるクラブがあり、会員候補者にとって選択肢が多いことはいいことだと思います。

また、前年度の「SAKUJI大作戦」に続き、今年度は「サクセス・ジャパン大作戦」が展開されています。これは2014-15年度末までに第1、第2、第3ゾーンの会員数を10万人にしようという挑戦です。近くにいる候補者を自分のクラブに推薦するだけでなく、日本中にいる信頼できる友人・知人を、その人が住む地域のクラブに紹介するためのシステムができました。

さて、前年度、第1ゾーンの会員数がわずかですが増加に転じました。これは特に第2520地区（岩手県・宮城県）と第2530地区（福島県）の2地区の増加に負うところが多いようです。ご存じのように両地区は、2011年3月の東日本大震災で被災した地区です。復興については、今も途上、厳しい状況にある地域ですが、なぜ、会員が増えたのでしょうか。

両地域の人々は、世界中のロータリアンからのたくさんの支援を受けました。日本中のロータリアンが手を差し伸べました。地元のロータリアンは自らが被災しながらも、地域の人たちのために活動を続けています。そういったロータリアンたちの姿を見て、多くの人たちにロータリーを知っていただくことができたこと、そしてロータリアンたちが被災しながらもロータリーの良さを理解し、必死にロータリアンであり続けようとしたこと、それらが大きな要因でしょう。

被災地域に何うと前向きに活動に取り組んでいるロータリアンにお会いし、元気をもらうことができます。「明るく前向きに」それこそが会員増強の秘策なのかもしれません。

会員増強について

鳥越 徹 委員長

1. まず、テーブルごとに、会員増強のため、①夜間例会の工夫、②夜間例会以外の増強の手法について、意見交換をした。
2. 次に、テーブルごとに上記①及び②の報告がなされた。報告の主な内容は以下のとおりである。
 - ・会員「候補者」という限定を付さず、人格的に優れ、交友関係を広めることを望んでいる事業者等（以下「事業者等」とする）を広く夜間例会に誘う。そうすれば、会員としても、誘う際の心理的負担（「この人は当クラブ

に入会してくれるだろうか」という判断の負担）を軽減できるし、また、仮に誘った方が入会しなくとも、その知人の入会という効果も期待できる。

- ・会員によるゴルフ、登山、魚釣り等のイベントを企画し、そのイベントに事業者等を誘う。
 - ・夜間例会やイベントの中で、ロータリー活動について触れる機会があれば触れる。
3. さいごに、鳥越会員より、実行することが大切であるとの発言があった。